

ヤマハニュース

YAMAHA NEWS No. 51

'87 9月号





表紙のことは

いままで若者だけのアイドルと思われていたオートバイが、家族ぐるみのスポーツ用品として、カリフォルニアの原野を走りまわっています。とくにヤマハのYL2C（90cc）を100ccにアップして後輪スプロケットを大きくしたものは、西部の砂漠地帯で圧倒的な人気を呼んでいます。

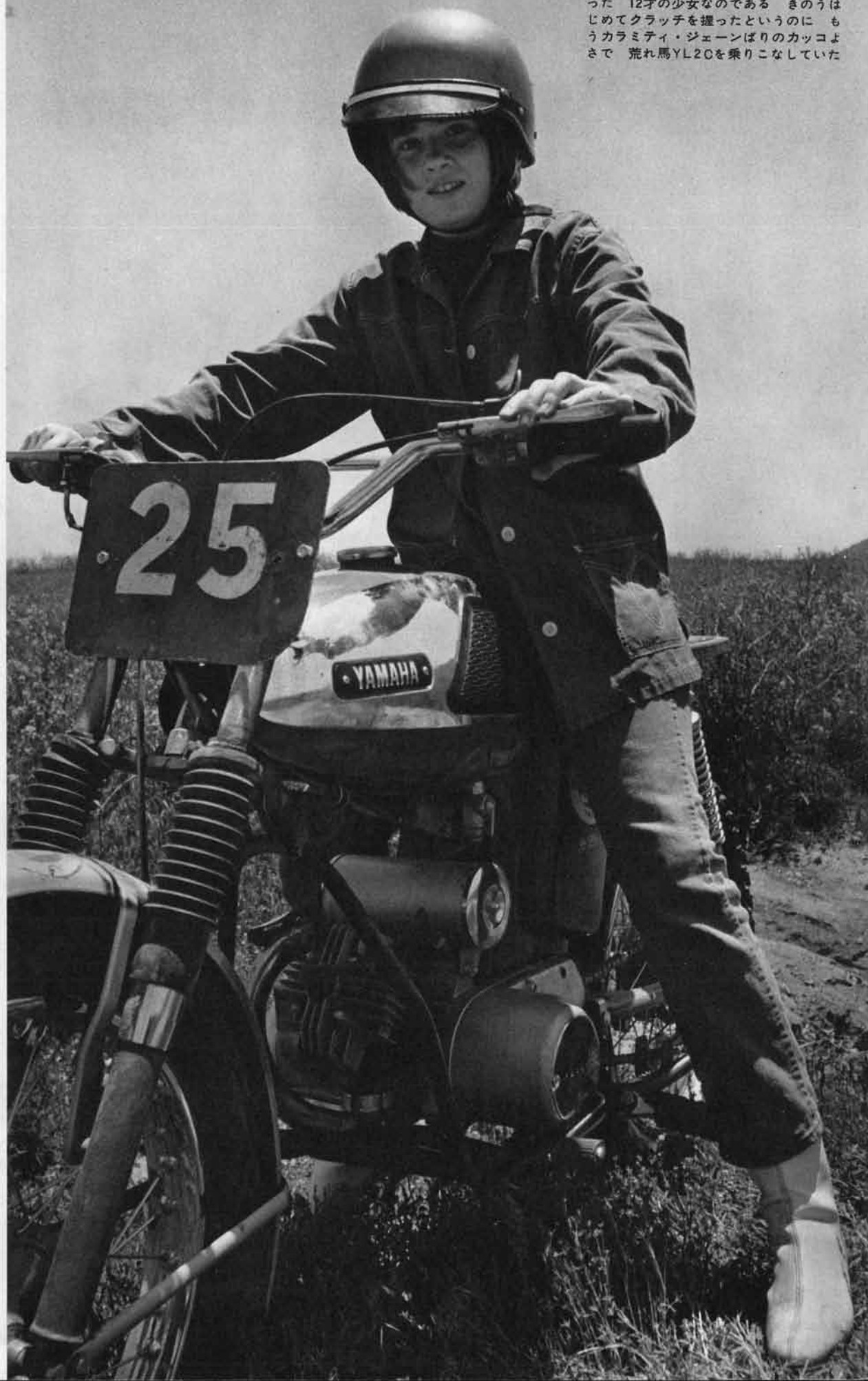
ロスアンゼルス周辺のハイウェイを走ると、いたるところにYAMAHAの巨大なポスターが目に付きます。性能、品質、それに美しい色とデザインで、いま全米へめざましい進出ぶりをみせているヤマハの意欲的なPRです。なかでもグンとそびえたつ大広告塔、その下にわがヤマハのロスアンゼルス支店があるのです。（ロスアンゼルス支店前にて）



西部の荒れ馬

ロスアンゼルスから約2時間 フリーウェイの両側に人影ひとつ見
えぬ大平原が展開してくる 横道へ入る 舗装がなくなった やが
て 砂漠のまん中で道が消えた 死んだような静けさだ。
小さく 遠く 砂じんが巻いた 爆音が飛んでくる ヤマハだ 丘
をかけたのぼる 跳ねる 突っこむ またひとつ砂じんがあがる ヤ
マハだ 追う 逃げる ここは暴れ者たちの天国 現代西部の無法
地帯なのである

ヘルメットのかげから かわいい歯が笑
った 12才の少女なのである きょうは
じめてクラッチを握ったというのに も
うカラミティ・ジェーンばりのカッコよ
さで 荒れ馬YL2Cを乗りこなしていた





ヤマハ
オートバイ

少女の父親アンダーソン氏いわく「見てください あの山の秃げっぶりを私や息子たちが 四方八方から攻め上った戦場の跡ですよ こんどあなたと会うときは この娘もあの山上で待っていることでしょう……」

“YL2-C” ——とは、国内版「ヤマハオートループ90H3」のトレイル型、すなわちスクランブラー仕様のもので、もっぱらアメリカにおいてレジャー用として大いに人気を集めている輸出モデルの新鋭だ。エンジン下部には頑丈なプロテクターを装備し、アップハンドル、アップマフラーの採用と相まって、フィッシングに、ハンティングに、広大な原野を疾駆できる荒地の“万能車”に仕立てられている。そして勢いのいい若者たちは競ってこのYL2-Cを求め、道なき道を突走り、若さを爆発させている。



ときには行きずりの数家族があつまって 楽しいキャンプファイアをかこむこともある 丘の上からアパッチのように駆けこんでくるヤマハ ひと汗かいたノドにトレーラーハウスで冷えたビールが……うまいねッ

週末になると 平原のそこそこから湧いてくるように オートバイを積んだトレーラーがあらわれてくる



西部の荒れ馬



赤ちゃんのときからヤマハ！ たくましい開拓者精神
をいつまでもと願う 涙ぐましい両親の努力である

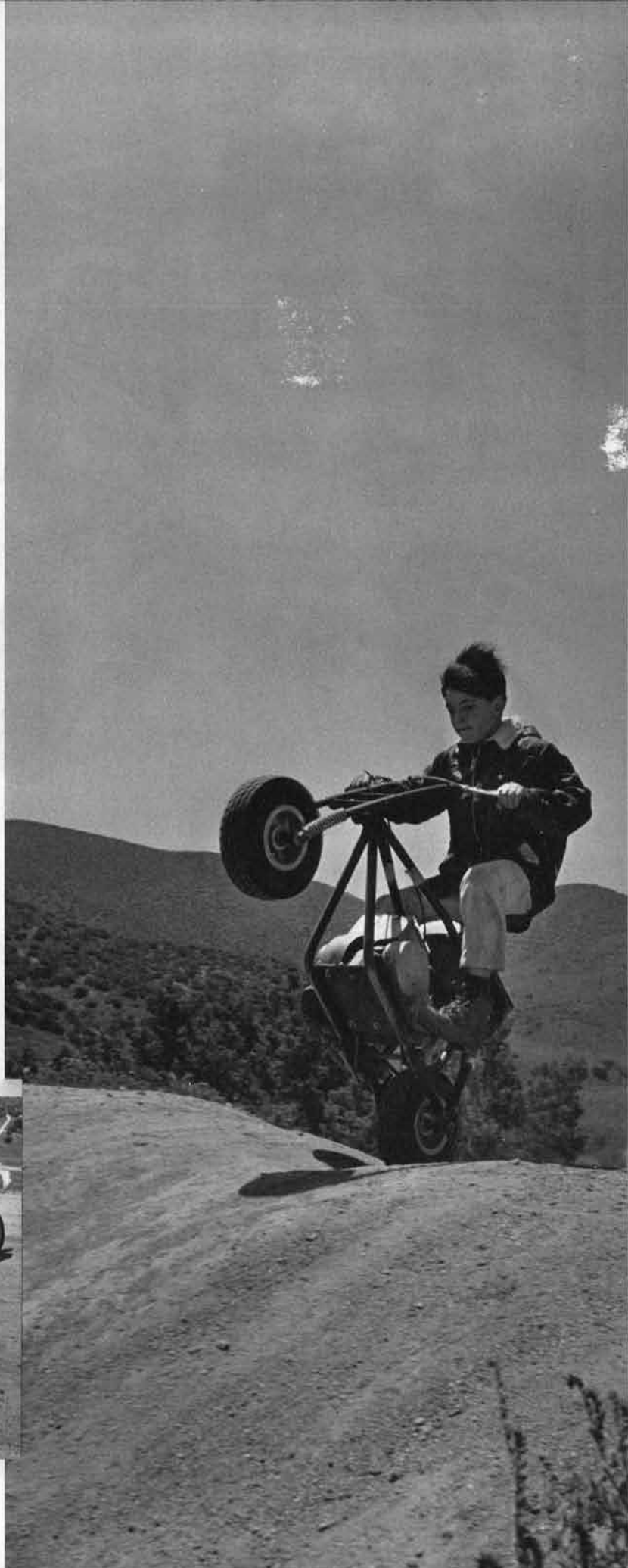


もちろん宇宙時代に生きるチエも ヤマハのメカニックを
通して養成してゆく……—石二鳥三鳥のグッドアイデアだ





YAMAHAのあるところヤマハあり この広大な大平原にヤマハをたずねて サービス点検 そして使用実態の調査研究……とロスアンゼルス支店の活躍はめざましい



見てください このあざやかなジャンプぶりを！ 当年10才の坊やです

西部の荒れ馬



砂地20度の急坂を一気に 200m ほどかけのぼる……岩石だらけの尾根
づたいに山岳ツーリングを試みる……西部劇のひとコマを想わせた



砂漠に陽が落ちる——家族ぐるみ週末に思う存分リラックスした人たちは あすからまた5日間 精力的に働らきつづけるの
だろう——トレーラーハウスにチョンと乗っけて さあ帰ろう

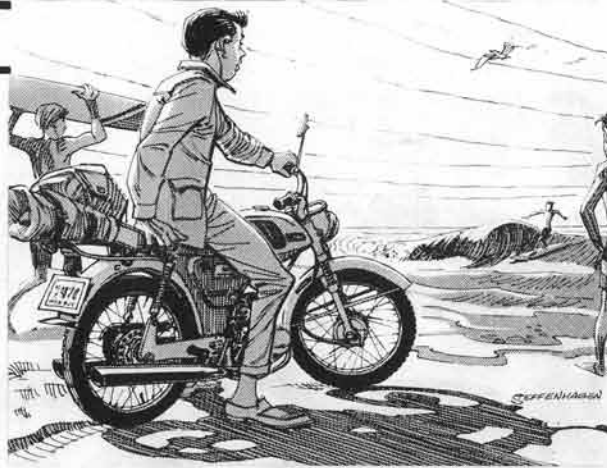


ヤマハに乗れば気も若い ヒヨドリ越えの逆落し……アメリカ版でござる

1万2千キロ

ケベックからロスアンゼルスへ
アメリカ大陸を縦断往復したY.L.1

by Peter Gibbons



ヤマハツインジェット (AT90) のオーナーであるカナダの少年が、ただサーフィンをやってみたさに、往復一万二千キロ (北海道・鹿児島間を二往復) の旅行に出発、一日八百キロ、平均速度八十キロという日本では考えられない高速ツーリングをやった。これはその生々しい記録。転倒二回、一回は百キロ近くのスピードでだが、幸運にめぐまれ車も本人も無事この大旅行を終えた。

七月八日 金曜日
東部標準時午前九時二〇分モントリオール発、完全整備のヤマハツインジェットで午後六時トロントまで走りっぱなし疲れてはいるがどうにかいけそう。七時にまた出発、オンタリオのウインザーまで行ってしまつつもりだったが、あと一六〇キロのところまでチェンが外れる。ハイウェイバトロールに関して道のそば



七月十三日 水曜日
七時ウインズロー発、アリゾナのフラグスタツフへ。フラグスタツフは高度二千三百メートルで大変に寒い。



七月十日 日曜日
九時に起きる。疲れはまったくなく。モーターを九時半に出発、テル・ホートでスピード違反でつかまってしまふ。ポリスはとても紳士的。ケンカもできない。摂氏四十三度をこすすごい暑さで八〇

七月十二日 火曜日
六時半出発、テキサスのアマリロからニューメキシコへ、高度と風のために七〇キロ以上出せない。ニューメキシコで見えるものは砂漠のみ。太陽は情容しなく頭をてらす。午後五時アルバケルク着。ラスベガスまで仕事を探しに行くというルイジアナからの二人組と一緒に夕食をとる。彼等を残してアリゾナのウインズローまで走り、そこでとまる。

七月十四日 木曜日
バーストウ七時発、海岸まで、シャニムニ走る。サンベルナルドの前にして、災難にあふ。グレイブバインという丘を降りる途中、時速一〇四キロで前輪がパンク、私はもうダメだと思ひながらブレーキをかけた。六四キロまで減速したがそこで私はほうり出され車はフートレストとハンドルを下にして三〇メートルも滑っていった。幸運なことにケガは大したことなく、足にハンドルで切りキズ、ヒザと手に二、

七月九日 土曜日
六時起床、六時半出発。午前十時デトロイトで朝食。七五号線でオハイオのトレドへ。そこから二十四号線でインディアナのフォートウエイン三時着、すさまじい雷雨におそわれる。雨がやんで出発。日没にインディアナポリスに着く。ここでもまったく疲労こんばいの上身体中が痛くとも続けられない。引きかえそうかと思う。ともかく休もう。雨が来そうなのでモーターにとまる。死んだようにぐつすりねむる。

七月十一日 月曜日
六時半出発、ルート六六でスプリングフィールドへ。プラグを換えて快調、この日もすごい暑さ。食物をとらないで水ばかり飲む。オクラホマシティに日没着カリフォルニアへ帰る夫婦にあつて、いろいろ話す。少しも疲労を感じないのでそのまま走りつづける。午前二時シャムロック着。この日は二十四時間走りつづける、千四百四十キロノンストップ。この旅行での記録になった。

七月十三日 水曜日
七時ウインズロー発、アリゾナのフラグスタツフへ。フラグスタツフは高度二千三百メートルで大変に寒い。

七月九日 土曜日
で寝袋にくるまる。時に午後十一時、寒さと路線トラックの音で一睡もできない。



サーフィンに惹かれて

QUEBEC TO L.A. and back!



三カ所打撲をうけただけですんだ。車はもうだめかと思ったが、少しゆがんだだけだった。タイヤをはずし修理工場です。サンベルナルデイノでヤマハディーラーのモダンサイクルで点検してもらった。車はまったく完全。ミッションオイルを交換、チェーンを調整してもらった。メカニックは私が百ccのヤマハで全行程を走ってきたと聞いてびっくりしていた。

二時に出発、ロスアンゼルスからフリーウェイに入る。これまでこんなに多くの車を見たことなかった。午後六時目的地のハンティントン海岸に到着、私の想像をはるかにこえた太平洋の景観に感激、一人で海岸を歩く。二、三人のサーファーと話す。八時に小さなサンデイセラーというティーンエイジャーのクラブを訪ねた。すこしい雰囲気、そこで夜通し若い連中と語る。ビーチバトロールに許可を得て海岸で寝る。

七月十五日 金曜日

六時半に連中が起しに来てサーフィンに誘ってくれる。サーフィンこそカリフォルニアでもっとも楽しみにしてきたものだ。二・三べん転んで、どうにか立てるようになった。この経験はちよつと忘れることができないだろう。

十時にみんなとわかれてマリブーに行くと。ここでガールフレンドに、テリ織の生地をおみやげに買う。一時間ほどサーフボードを借りて楽しむ。午後早くマリブーを出発、ルート一〇一、サンフランシスコに向う。まったくわがヤマハは快調。サンルーカーズでガールフレンドに電話。日が落ちてから山のせいかすこく寒い。我慢ができなくて宿をとる。



七月十六日 土曜日

モーターを九時に出る。オークランドでハイウェイバトロールに、ルート一〇一には車小さすぎると止められたが、私がどこから来たか見たとたん、元気で帰れよとはげましてくれた。カリフォルニアで一番美しい町サクラメントを四時半に通過。コルドバサイクルセンターでポイントを見がいてもらったので、なんの心配もなく百二十キロで飛ばせる。午前一時、疲れたのでカーソンシティでキャンプする。

七月十七日 日曜日

六時カーソンシティ発、何百キロも砂漠が続く。とても暑く、足はあまり進まない。午後十時ユタのスパニッシュフォーク着、ここで泊る。

七月十八日 月曜日

ソルトレイク午前九時着八十号線を通

つてシカゴへ。工事中にぶつかる。ワイオミングのメデイシンパウでキャンプ。

七月十九日 火曜日

ワイオミングのシャイアンに向けて六時半出発、平地ばかり走り午前九時着。リトルアメリカで朝食。ネブラスカのシドニーでプラグを買うために止まる。アイオワのフェアモント午後十時半着、キャンプする。

七月二十日 水曜日

暑かったが、シカゴへ向けて一日走りつづける。カリフォルニアのコルドバからまったく調子がいい。午後六時アイオワのクリントン着。とても疲れているがシカゴまで今日中に行きたい。午後十時半シカゴに近いオーラ着、ガソリンスタンドで、もう一歩も動けないという。駐車中のトレーラーで寝てもいいといってくる。札をいってトレーラーの中で寝る。

七月二十一日 木曜日

八時半起床、体調は完全、デトロイトに向け出発、インディアナ有料道路を通る。道ばたで手をふる女性に止められ、バンクを直してやる。一時間ほどかかる。トレッド午後四時着、トレッドからデトロイトの途中で、高速でチェインがすべり出す。デトロイトのヤマハディーラーに寄る。スプロケットがへつるが、チェインをよ

く締めれば、モントリオールまでは持ちそうだとのこと。食後国境を越えるウインザーでガス補給、そこでやはりカリフォルニアからトライアンフ五〇〇で来た二人の青年にあう。私の話におどろいたが、さらにロスを土曜の午後出たという話にぶつたまげてた。

七月二十二日 金曜日

オンタリオのロンドン朝七時発、午後六時にはモントリオールに着きたい。八時半頃休もうと思つて舗装してない路肩に寄つたとき砂利にすべつて転倒した。今度はこわれたかと思つたが、ミラーを割つただけでヤマハは元気。こちらのケガもカリフォルニアのすねのキズがまたちよつとやられただけですんだ。またシャニム二走りつづけて、午後六時前にモントリオール着、トロントに午前九時半。チェインはまたすべり出す。締めながら午後四時、家まで百六十キロのところまでまた前輪がバンク。修理に二時間かかる。ついに、はるかかなたにモントリオールの夕日を見た。その美しいこと。午後十時家につく。疲れとほこりで顔中まっくらけのまま、母と妹に話をする。風呂に入つてぐつすり休む。

七月二十五日 月曜日

完全整備に出す。スプロケット交換など、スピードメーターは一万六千キロ、全走行距離一万二千キロ、かかった費用は、ガソリン三十五ドル、オイル十二ドル、プラグ八ドル、修理十ドル、バンク三ドルの計六十八ドル。燃費は平均四十キロ、平均速度八十里、一日の平均走行距離八百キロ、走行時間平均一日十一時間だった。ヤマハはまったくよく走つた。現在一万九千キロを越しているが、新品同様に走っている。

(サイクル・ガイド誌7月号より)



走爆へピオンン

'67世界選手権ロードレース

ヤマハダブルタイトルへ肉薄

— チェコGP —

'67世界選手権ロードレース得点表

レース クラス	スペイン G P	西ドイツ G P	フランス G P	マン島 T.T.	ダッチ T.T.	ベルギー G P	東ドイツ G P	チェコ G P	合計
125cc	8	0	8	8	8	0	8	8	56
250cc	8	0	8	6	6	8	8	8	52

1位：8点 2位：6点 3位：4点 4位：3点 5位：2点 6位：1点

ヤマハ2ク
ラスに勝利

— 東ドイツGP —

ビル・アイビー、フィル・リード両エースライダーの活躍で、ヤマハはシリーズ第八戦のチェコGP(七月二十三日)の一二五cc、二五〇cc両クラスも勝ちとつた。

一二五ccクラスはこれで六勝目、完全制覇にあと一勝と迫ったわけである。

西ドイツGPのめずらしい事故は例外で、出場六レースをヤマハはすべて優勝で飾ったのだ。第九戦のフィンランドGP(八月六日)こそヤマハの一二五ccクラスのタイトル獲得が確定する記念のレースとなることは間違いないなからう。

二五〇ccクラスの勝利もこれで五つ目、ライバルのホンダチームに大きく水をあげ、このクラスでもヤマハは着実に覇権への道を辿っている。

個人得点でもアイビー、リード両選手ともそれぞれのクラスで断然トップ。

ヤマハの一九六七年度ロードレース世界選手権ダブルクラス完全制覇は刻一刻と迫りつつある。

勝利のかけに

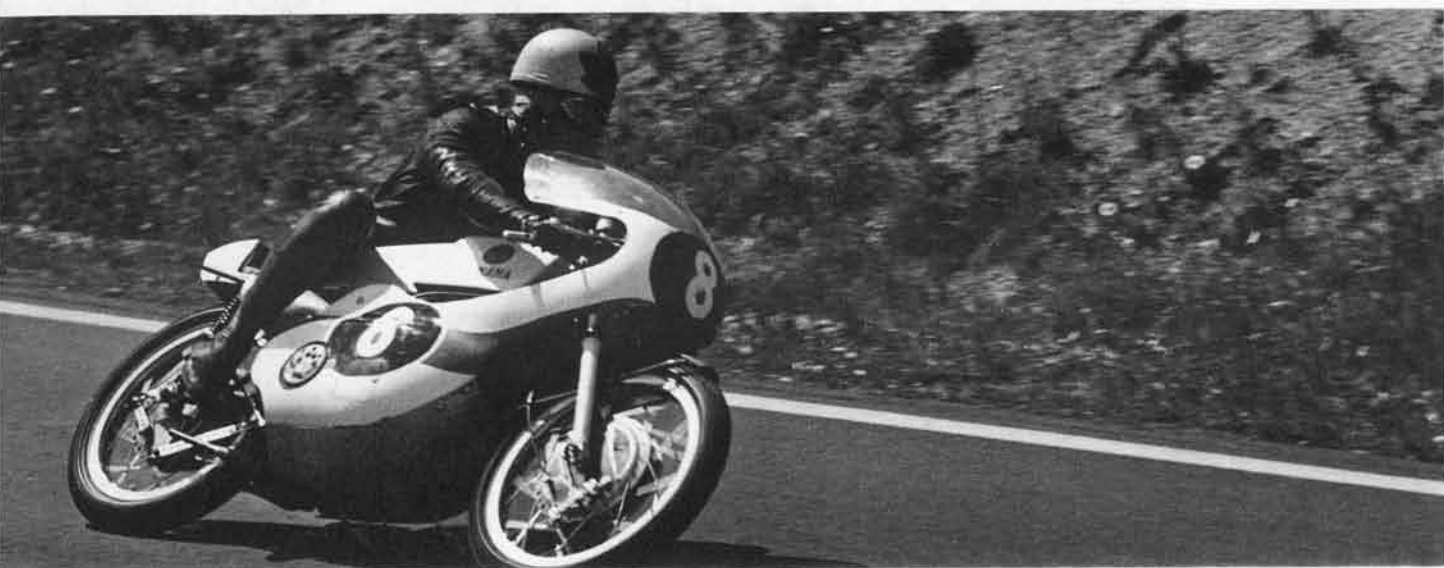


次のレースは1週間後だ。組んではバラし、バラしては組む……の徹夜の作業がつけられる



耳をろうするばかりの爆音、追いつ追われつの熱戦、湧きあがる歓声——コース上は全観衆の耳目をうばつ

ヤマハ、メーカーチャ



戦えばかならず勝つヤマハは第七戦の東ドイツGP（七月十六日）一二五ccクラスにも順当な白星をかきねた。

このレースで、まずトップにでたのは例によってスズキチームであったが、第二周目で早くもアイビーがグラハム、片山を抜いてトップ。さらにリードも第四周でチームメートに次ぐ二位に進出。

この順位はついに十二週のレースの最後まで変わらず、グラハムは幾度か果敢な反撃を試みたが、どうしてもヤマハの堅塁を破ることができなかった。

作戦通り一位アイビー、二位リードの順でゴールインしたが、アイビーのラップ、三分十三秒八（一六〇・〇一キロ/時）、レースタイム、三九分三八秒九（一五六・四三キロ/時）は、ともにレコードであった。

二五〇ccクラスのタイトルを争う宿命のライバル、ヘイルウッドとリードは、ほとんど同時に見事なスタートでレース開始。

ベルギーで完敗したヘイルウッドのこのレースに賭ける、なみなみならぬ意欲は、性能的に一段勝るヤマハレーサーのリードと互角の接戦を繰りかえして前半を終了したが、第七ラップで、ついにホンダ六気筒はオーバーペースのためにリタイア。

それまで三位についてチームメートの援護をしていたアイビーがホンダのプライアンスズに大差をつけて二位に進出。

レース後半は、ヤマハチームのまったくの独走で、一二五ccクラスに次いでこのクラスも圧倒的優勢を保ちながら一位、二位を独占。ウィナー、リードのラップは三分一秒八（一七〇・五七キロ/時）はレコード。

このクラスでヤマハは四勝目をおさめたわけであるが、タイトル争いで完全に単独首位にたつた。



「圧はいいゼツ、調子良好！」眠気をふきとばす早朝の始動点検



一戦一戦の技術成果の集積、そして次レースの作戦、本社への定時連絡と、監督も休む間もない

てスリリングなレース展開が続行されている。しかし、この華やかな舞台うらでは、オートバイ・メーカーとしての技術と名誉をかけて、日夜を分かたぬメカニツクの苦斗が秘められているのだ。

ヤマハ二五〇cc.に完勝——ベルギーGP



シリーズ第六戦のベルギーGP
 (七月二日)の圧巻は二五〇cc.六気筒ホンダの超人ヘイルウッド対四気筒ヤマハのリード、アイビークチムの激突であった。

回を追って好調になるヤマハの水冷四気筒レーサーは、ここでもブラクティスでホンダ六気筒にかなりの差をつけていた。

このヤマハの快調ぶりは本レースでも遺憾なく発揮され、アイビー、リードの両エースがスタートからトップに立って、ヘイルウッドに第一周目前半で二〇〇ヤードの差をつけてしまった。

本年度シリーズの終戦にレース運に恵まれず、スペインからフランスまでの三戦をいずれも中途リタイアで失っているホンダのエースはTT・オランダと二連勝して意気大いに上っていた。

オーブニングラップで大差をつけられた彼は、そのライディングテクニックのすべてをつくして先行するヤマハチームを追ったが、差は詰まるどころかますます開く一方であった。

第三周目あたりで明らかにヘイルウッドは追撃を断念、三位に甘んじる態勢となった。

かれの技量をもってしてもレーサーの性能の差はいかんともし難かったのである。

ヤマハの両エースはこの名にし負



さあ、晴れの舞台へ……。はりきるメカニックたち



車検は無事に完了。付添いをつけて出てくれた現地ヤマハ・ディーラー：アイルランド・ダンファイ商会のマック・ヘンリー氏も至極満足げ

名にし負う高速コース、ベルギーGPのフランコルシャンでは車の性能、信頼度が大きくものをいうが、ヤマハはフィル・リードが、202.106km/hの驚異のラップ記録を樹立し、ビル・アイビーが堂々の優勝を飾るなど、存分な実力を発揮して大観衆を熱中させた。

一二五C.C.ダブルパンチ——ダッチTT

ラフランコルシャンの高速コースを思う存分に力走、第五周でリードの出した四分十一秒（二〇二・一〇六キロ/時）は昨年かれ自身のマークしたラップを三秒以上短縮するレコードとなった。
この直後リードは不運にもメカニカル・トラブルでリタイアしたが、アイビーが代ってトップにでた。

かれは以後のレースを危なげなく完走三八分四二秒一（一九六・六八四キロ/時）のタイムをマークした。
これでヤマハはホンダとタイの三勝となったが、ヘイルウッドは本年シリーズ初の完敗を喫したわけであり、このクラスでもヤマハ制覇の色が濃くなったことは、だれの目にもあきらからかであった。

TTの激戦から一週間後の六月二十四日、オランダのヴァン・ドレンテのサー

キットで行われた第五戦のダッチTTでシリーズはいよいよ中盤戦に突入。
ヤマハ出場の一二五ccクラスはこのGPでも最も期待されたレースであったが、リードとアイビーのヤマハチームはライバルのスズキの追撃をかわして一、二位を独占、早くも本年度タイトルへの足場を堅実に固めた。

レースはグラハム、片山のスズキのダブルの猛然たるグッシユに始まったが、ヤマハの両エースは余裕をもって六周目までライバルの先行を許し、機をみて一気にトップをうばった。
十周目でグラハムがスバートしてトップに出てきたが、十一周目でリード、アイビーのヤマハのカップルは再び一、二位を独占。

以後両エースはグラハム、片山との差を次第に開きながら快走、リード、アイビーの順でゴールインした。

リードのレース記録四十七分二五秒〇（一六三・四八キロ/時）はレコードで、また二位アイビーのマークした三十七秒七（二四〇・二一九キロ/時）のラップも新記録であった。



ヤマハのエース、フィル・リードは東ドイツ、チェコGPと250cc級レースに輝く2連勝をとり、ライダー・チャンピオンのトップに立つと同時に、ヤマハのメーカー・チャンピオン獲得にあと3勝と大きく迫った。ホンダとの対戦成績は5対3で2勝のリードだ。



勝利の花道をひきあげる。ライダーと共に持てる性能をフルにひきだしたもう一人の立役者がわれわれメカニックなのだ



息の合ったヤマハ・チーム。アイビーちゃんの女房役、内藤メカの親心



全フランスの チャンピオン レオ選手

ぼくダニエル・レオ(Daniel Lhéraud)21才です レースをはじめ
 まだ2年にしかありませんが ヤマハはすごいです
 きょねんTD1に乗ってフランスのチャンピオンになったのを
 認められて ことしはスノート商会(フランスのヤマハ総代理
 店・パリ)からヤマハのレーシングマシンRD56 250ccを提供し
 ていただき 世界選手権フランスGPに出場させてもらいました
 プラグ・ミスのため2回もピットインしたため9位にとどまり
 ましたが それでもラップ記録はフィル・リードさんがRD56
 で出した最高ラップの3分52秒9に わずか1秒たらずおくれ
 ただけだと ヤマハの永易監督にほめられました
 ヤマハはまったくいいクルマです GPレース後もRDに乗っ
 て国内レースに参加 ことしもフランス・チャンピオンを獲得
 することができました 2年連続優勝です
 日本のヤマハのみなさん 世界一のヤマハに乗って ぼくは来
 年もがんばります



パリ・スノート商会のみなさんと本社GPチームにかこまれたレオ選手(中央)

わたしもメイト

見て、すぐ買いたくなるお店

世界のいたるところで ヤマハは大躍進をつづけています 高品質高性能だからというだけでなく 海外各地のヤマハ販売店が お国柄土地柄で それぞれ工夫をこらして ヤマハをもりたて売り拡めることに努力されているからです

ハワイのワイキキ海岸通りに面したお店は、その名もすばらしく「YAMAHA-WAIKIKI」アロハやショートパンツの若者たちが、散歩のついでにもスイと入れる気軽なフレイキな、しかも主人みずから店前へイスを据え出して、遠くオートバイに「ハイ」と呼びかける超積極手法である





YAMAHA・YAMINIの第一線セールスマンたちは、全島これ自店のショーウィンドと心得ているらしい。椰子あり美女あり、どんなに工夫をこらした陳列窓よりも、楽園ほどヤマハにびったりの背景はないと信じているのだろうか。商談がはじまると、「どうです、この調子」とばかりに、お客さんに乗っけて走りだすのである。 常夏

見て、すぐ買いたくなるお店



ハイウェイのそばにボツンと一軒 ハワイ風の建物は
は ツーリング仲間が集まるのに絶好の店がまえた

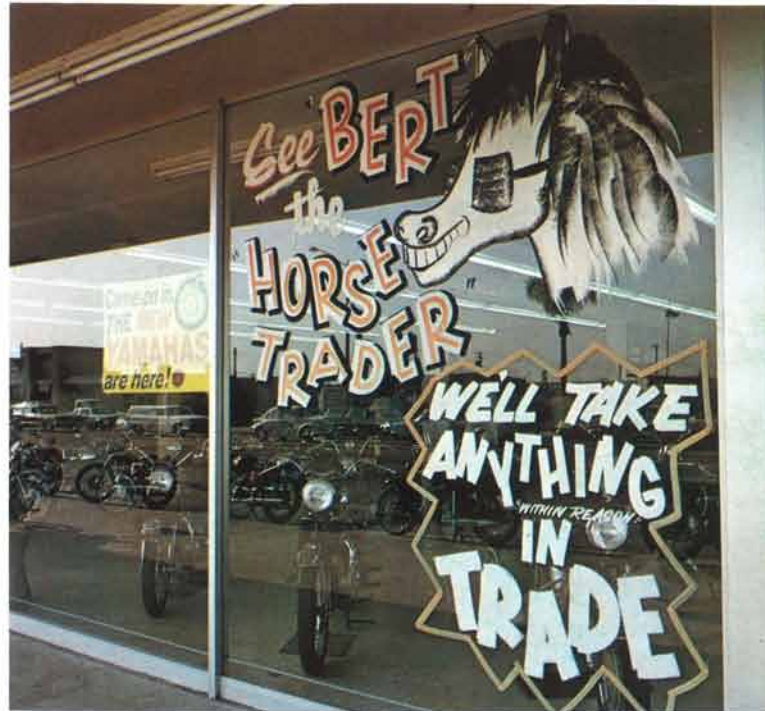


目抜き通りにずらり並んだヤマハヤマハ…… 夜も昼も広い敷地
はもっばらクルマの屋外展示場 常夏の島ならではの店である





群を抜く……という形容がぴったりするヤマハの販売店 売れゆきも抜群だ



パンチのきいたショーウィンド



しゃれた用品コーナー 奥さんも気軽にオートループオイルなんか買いにくる

見て、すぐ買いたくなるお店

ロスアンゼルスには電車も地下鉄もない クモの巣のように張りめぐらされた高速道路と クルマだけが市民の足である だから2輪4輪の販売店が密集しているこの一角は とくにいきいきと活動している とくに土曜日曜は書き入れ時だ 家族づれや若者たちが押しかけて 見てる間に2台3台とヤマハが売れてゆくのである

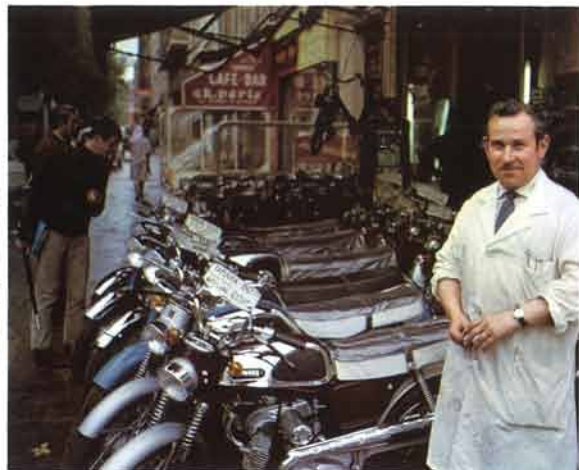
壁面いっぱいに展開する西部の沙漠風景 リヤは砂をかみフロントは高く空を駆ける 夢はや無法地帯に飛んで 商談たちまち成立……という寸法だ





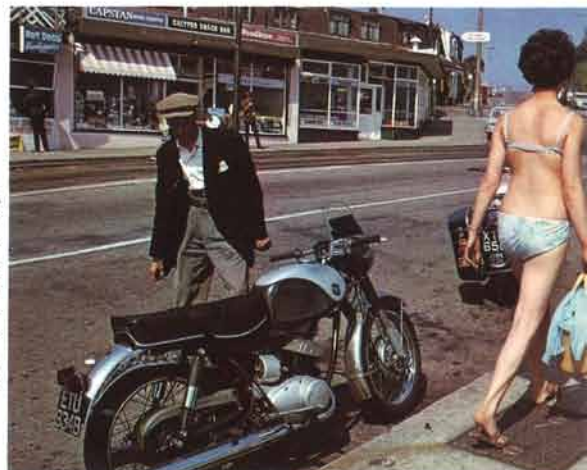
ファン

パリの街角でアフリカの奥地でヤマハのメイトたちは潮のようにひろがってゆきます



〔パリのヤマハ〕

パリでもっとも熱心にヤマハをすすめてくれる人「ララ商会」の社長さんです フランスGP完勝で持論を実証しました



〔マン島のヤマハ〕

ダグラス市の海岸通りにて……二人は遊びに行ってしまったらしい オールド・ライダー氏が熱心にのぞきこんでいた



ハワイでいちばんきれいな海岸線 HANALUA BAYに 快調な爆音が近づく 350R1と305M2だ YAMAHAノヤをけんて駆け去った



海外の ヤマハ

ひたすらに二輪をつくり 二輪を売る これこそ世界の足だからです みんなYAMAHAに乗っていることが誇りなのです

マウンテンコースのかなたに陽は落ちて 長い長いマン島の夕暮れがやってきた ただいま午後10時半 TTレースの思い出を抱いてリパブル行きの船着場へ向う二人である



モントリオールで開催中の万国博日本館に出品されたヤマハ 世界の若者たちがまるで速い友人に出会ったように駆け寄ってくる

TTレース開催中のマン島は「TTホリデイ」と呼んで全島あげてのお祭りさわぎだ ぎっしり並んだ各国オートバイの中で ここにも……ヤマハがにっこり笑ってた



マン島でたったひとつ進め止れのある交差点は 世界中のオートバイの交差点でもある ここにもヤマハが……おまわりさんもビックリの出足である

海外の **ヤマハ** ファン

コンニチハ・ヤマハデス

ヤマハ・オブ・ハワイの主要メンバー。左からジョン、ジョージのパーマイスター兄弟、コナリーさん、パーマイスター氏。



ハワイで占拠率ナンバー1
人情は同じ・誠意で伸ばす

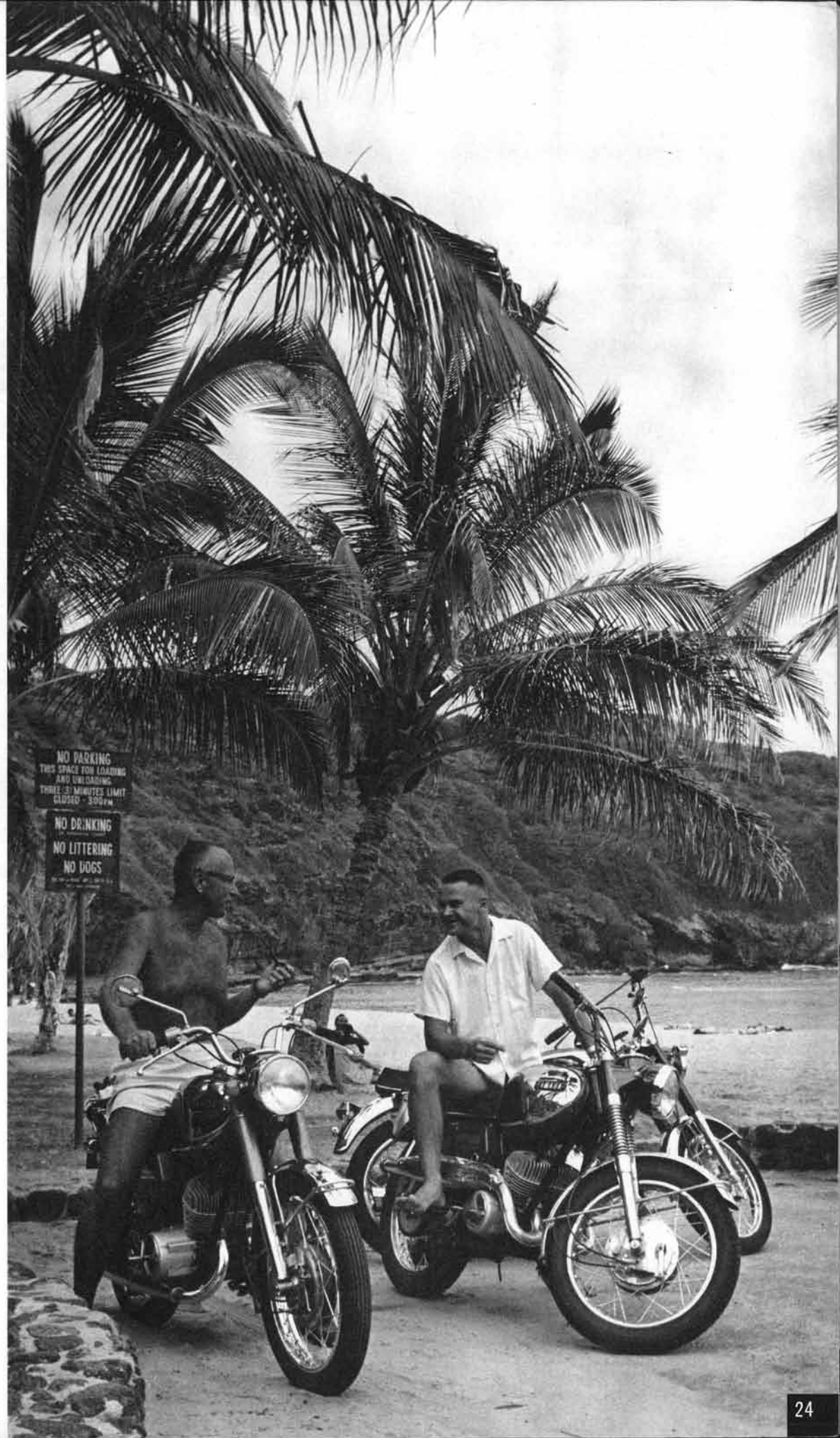
YAMAHA OF HAWAII

ヤマハオートバイは、海外でも好調な伸びを示している。世界のヤマハ販売店が、一人でも多くの人にヤマハに乗ってもらおうと願い、そして努力しているからだ。ここでは、椰子しげる常夏の島々で活躍するヤマハ・オブ・ハワイのみなさんを紹介しよう。



ジョージさん(右)は、第一線のセールスマンとして、ハワイの島々を回ってある。途中で出会ったカメラマンのお客さんと、ヤマハのよさを語り合う。

コナリーさん(左端)もジョージさんと手をたずさえて、第一線のセールスマンとして活躍している。



ヤマハ・オブ・ハワイは、名実ともにハワイ第一のヤマハのお店である。ハワイでは、ヤマハオートバイの占拠率が、他の銘柄にくらべて、ずば抜けて高いが、これは、ヤマハ製品の評判と、同社の実力によるものだ。
ヤマハ・オブ・ハワイは、昨年は九百台ものヤマハオートバイを売った。ハワ

コンニチハ・ヤマハデス



セールスマネージャーとして敏腕をふるうジョンさん(左)



代表者のバーマイスター氏は、日本車をハワイに紹介した草分けだ。同業者にもヤマハを扱かうよう、熱心にすすめる。



イ諸島におけるヤマハの市場占拠率は約四〇%で、残りの六〇%をホンダ、スズキカワサキなどがわけあっている。

ヤマハに魅され、ヤマハを売る

ヤマハ・オブ・ハワイは、思わぬきっかけからスタートした会社である。

いまから十年ほど前、ひとりの若者がサイドカー付きのオートバイに乗って、ヨーロッパを旅行していた。その名をジョージ・バーマイスターさんという。

ジョージさんは、そのころ、自分が将来、どんな職業で身をたてるべきか、懸命に模索していた。

一九五六年からはじめて、三年間にわたるこのツーリングで、ジョージさんはジョン・コナリーというイギリス人と親交を結んだ。コナリーさんはジョージさんのサイドカーに同乗して、ヨーロッパの旅を共にしたが、このときの二人の出会いが、将来、ヤマハ・オブ・ハワイの繁栄に大きく役立とうとは、夢想だになかった。

やがて、コナリーさんと別れて、アメリカへ帰ったジョージさんは、あるときテキサスの平原をさつそうと走る一台のオートバイを見た。その姿が、なぜかジョージさんの脳裏に強烈に焼きついたのだった。

「ハワイへ帰ったら、このすばらしいオートバイを売ってこよう!これこそ、オレの一生を賭けた商売だ」ジョージさんの決意は次第にかたまっていた。

そのオートバイの名はYAMAHA YD2とだけ、わかった。日本でつくられた車だという。

ジョージさんは、政府の刊行物を調べたり、商工会議所にも足しげくかよったが、YAMAHAオートバイの発売元はなかなか判らなかつた。なにしろ、いま

ハワイ生まれの二世である中谷清登さんは腕のいい整備係だ。大型車の整備をやっていた経験もある。日系のお客さんにしたわれている。



日系のスーザン トーレスさんは、3年前から庶務を担当している。結婚前の名前はスズキさんといった。

から八年も前のことである。やつのことで、YAMAHAという名の会社をさがして、胸をおどらせて手紙を出したところ、なんと、ヤマハはヤマハでも、陶磁器を輸出している貿易会社だったので、ガツカリ。そんな事件もあったすえ、どうやらヤマハオートバイの輸出元であった日本楽器とも連絡がとれたのである。

ハワイ全域をヤマハが走る

商売をはじめるとあたって、よい相棒がほしい。そのとき、ジョージさんの胸にひらめいたのは、かつて、ヨーロッパの旅をともにした同好の士、コナリーさんのことだった。ジョージさんのさそいに応じて、ひとつ返事で、コナリーさんはハワイにとんできた。

ひさしぶりの再会に、ヒシと手をにぎり合う二人の姿をみて、ジョージさんの父親、パーマイスター氏がこういった。「わたしも出来るかぎりの援助をしよう。資金がいるなら、出してあげよう」

こうして誕生したのがパーマイスター氏を代表者とするヤマハ・オブ・ハワイだった。一九六〇年六月、はじめてヤマハが、ハワイの青空の下を走るようになった記念すべき日であった。

間もなく、事業の拡張に従って、パーマイスター氏の長男、ジョン・パーマイスターさんも呼びよせられた。

最初の年の販売実績は五十台だった。この小さな店が、今日のように名実ともに備わったヤマハ・オブ・ハワイに成長するまでには、かなりの年月が必要であった。

現在、ヤマハ・オブ・ハワイのメンバーは二十人。いろいろな国の人が集まっているが、たいへんなごやかだ。

同社と取引のある店もオアフ島に五

コンニチハ・ヤマハデス

パーツマネージャーのビル・デンバーさんは
部品部の拡張で非常にいそがしくなった。
用品の展示方法にも工夫をこらしている。



整備主任のドミニコ・グルビドさんは、ロードレース、モトクロスなんでもござれの名ライダーだ。自分でチューンアップしたレーサーで、さまざまなレースの優勝カップをさらってくる。このグルビドさんの活躍は、強力なヤマハのPRである。



マウイ、ハワイ、カワイ島にそれぞれ一店と、ふえた。

ヤマハは、スポーツ車がよく売れている。通勤、通学に、週末のツーリングにレースにと、その用途もふえる一方だ。

日本の販売店のみなさまへ

ヤマハ・オブ・ハワイのジョージ・バーマイスターさんは、日本のヤマハ販売店のみなさんに、つぎのようなメッセージを寄せました。

「わたくしは以前、オートループ車の発売に際して、技術研修のため、三カ月間、日本に滞在しました。

ほぼ時を同じくして、わたくしの父も優秀販売店表彰の荣誉にあずかるため、日本に招かれました。

わたくしたちは、ぜひもう一度、日本を訪れたいと思っています。

わたくしたちの店、ヤマハ・オブ・ハワイが、第一のモットーとしていることは「誠意をもって売る」とことと「友だちをつくる」ということです。事実、車さえよければ、友だちがどんどんお客さんを紹介してくれ、そのお客さんがまた、つぎのお客さんを紹介してくれるものです。

しかし、なんといっても、扱かう車がいよということが大前提になります。

「誠意をつくして売る」といっても、口先だけではダメで、サービスが万全であり、しかも早いことが、絶対的な条件だと確信しております。そのために、パーツを豊富にとりそろえるよう努力しています。

しかし、ヤマハ・オブ・ハワイの業績が今日のように伸びた根本的な原動力はよい製品を取り扱ったことであり、この点、おおいに感謝している次第です」

がっしりと 手をくんで

— 優秀セールスチーム本社工場へ招待 —

販売店のみなさまの協力でヤマハの新しい仲間が、ぐんぐん増えています。

七月十九・二十日の両日、浜北の本社を訪れた全国選抜優秀セールスマン100名は、表彰式のち本社工場をはじめ北川

自動車、磐田工場、新居工場などを見学しました。

活気あふれる工場群に満足した一行は品質と性能にいつそう自信をふかめ、さらにヤマハセールスチームの結束とその躍進を誓い合つて解散しました。



全国のヤマハセールスチームを代表して、あらたなる決意をひれきする大西泰蔵氏(徳島常盤販売株式会社)

躍進ヤマハの原動力、ヤマハセールスチームの勝利に感謝と激励のあいさつをのべる 本社 小池専務

YAMAHA *Topics*



ごくろうさまです……がんばりましょう……頼もしいセールスチームの腕に思わず握手を求める 本社 川上社長



流れるような作業の中でも ひとつひとつ確実に定着してゆく仕事ぶりに 満足そうな工場見学だった



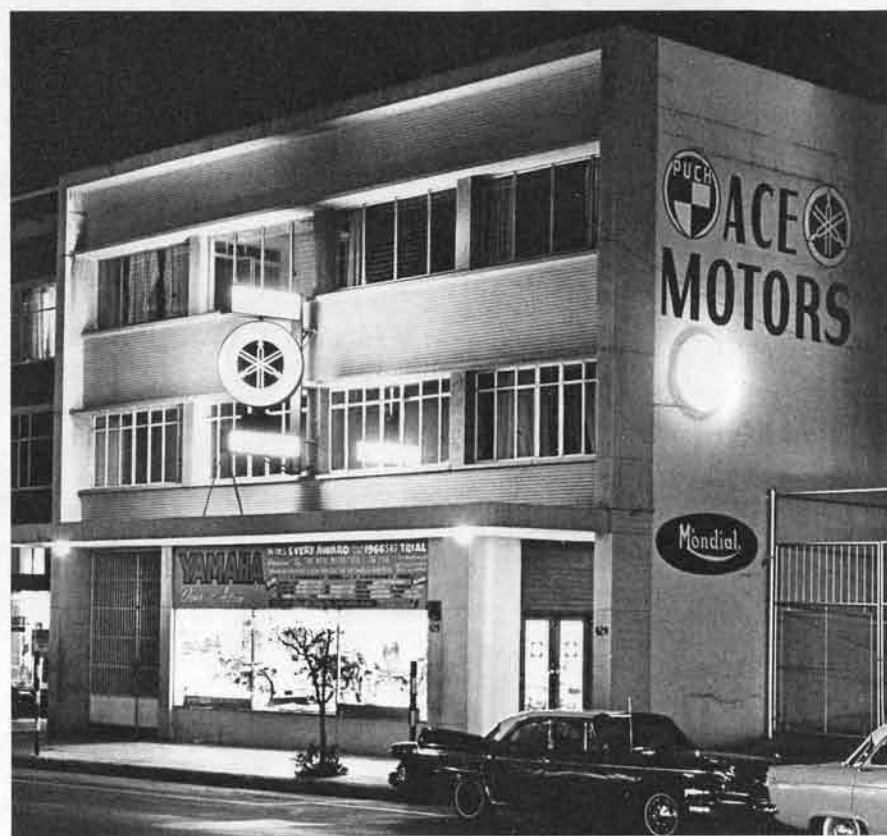
表彰の感激を胸に“われらがヤマハ”のふるさとを見学に出かけるチーム・メイトたち



南アフリカ連邦でも、ヤマハの人気はうなぎ上りです。
 ロードレースの元世界チャンピオン、ジム・レッドマンも、ヤマハの代理店チャーリー・ヤング社のセールスマネージャーとして活躍するかたわら、大いに高性能ヤマハの宣伝に力をつけています。
 ヤマハを取り扱うお店もどんどんふえました。南アフリカ連邦の面積は、日本より広いのですが、各地の販売店が集まって、いろいろの講習会を開くなど、たいへん熱心です。

オートバイに馴れないお客さんのために、ヤマハの試乗会を催すお店もたくさんあります。こうした販売店は、いずれも展示意匠に工夫をこらして、一人でも多くのお客さんを引きつけようと張切っています。モータースポーツが好きなお客さんが多いので、店内にレーサーの写真をたくさんかざって、人目をひくうとしているお店もあります。
 現在、南アフリカへの輸出は、割当て制で、台数が制限されていますが、これがフリー制になれば、ヤマハはグンと伸びるでしょう。

お店の飾りつけに工夫をこらす 南アフリカのヤマハ販売店



写真は立派な店構えが印象的な南アフリカのヤマハ販売店。上からヤマハ・センター、エース・モーターズ、レーシングモーターズ



豪雨禍のもと必死のサービス活動

ヤマハ特別サービス班、水害地へ急行

七月九日朝から十日未明にかけて、本州の西半分が集中豪雨に見まれ、広島県下でもがけ崩れ、河川の氾濫、家屋の倒壊流出の被害が続出し、県一帯が恐怖に包まれました。

なかでも呉市では乱脈な宅地造成による階段都市の悲劇が、社会の注目を浴びました。

この惨禍の報告に、ヤマハ発動機広島支店では、即刻、水害特別サービス班を

設け、現地に急行、販売店ならびにユーザーを対象とした適切果敢なサービス救済活動を実施しました。

ヤマハの完全無比といわれるほど行き届いたサービスぶり、徹底した販売店指導に、販売店はもちろん、地元民からも感謝の声があげられました。

(ヤマハ発動機広島支店発)

写真上は水害特別サービス班の出動

■ モントリオール万国博で人気の的となったトヨタ2000 G.T.



—陸のヤマハ 海のヤマハ—

■ 南房総ヤマハポートショー

南房総ヤマハポートショーが6月23日から3日間にわたって、千葉県鴨川の鴨川レストハウスで開催されました。シーズンとあって、会場は大変なにぎわいをみせましたが、同時に展示したヤマハオートバイ各車にも人気が集まりました。陸でも海でも大好評のヤマハです。(ヤマハ発動機東京支店発) 写真は南房総ヤマハポートショーのスナップ

ヤマハメイトで鹿踊り

岩手県・及川輪店の展示即売会

岩手県水沢市金ヶ崎の及川輪店では、このほど、金ヶ崎小学校でヤマハオートバイと自転車の展示即売会を開催しましたが、そのときのアトラクションとして、花巻市より、有名な「鹿踊り(ししおどり)」の一行を招待し、好評を博しました。

鹿踊りは、無形文化財の指定を受けた格調高い踊りですが、とくに、この展示即売会場で鹿踊りを披露した人は、ヤマハオートバイブツイン90の愛用者となつて、踊りにも一段と熱が入りました。(ヤマハ発動機仙台支店発)

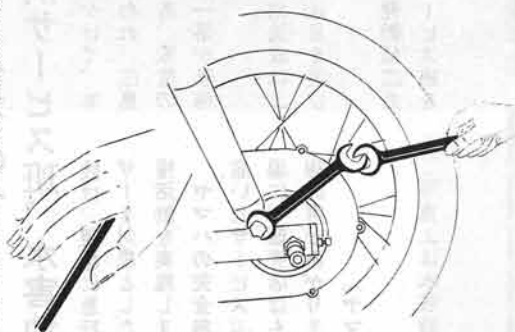




今月のサービス

斉藤一郎

工具“べからず”



二丁掛けでなくても、あやまってボルトを
ちぎることがあります。そんなとき、スパナ
Iをわし掴みにしていると、ほかの個所で指
や手の甲を傷けることがあります。手のひら
を開いて、掌（たなごころ）のどこかをスパ
ナーに当てて押すのが安全です。

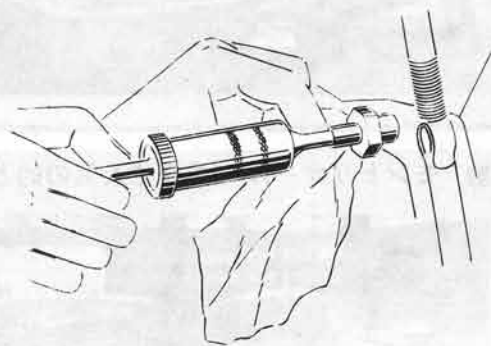
わしづかみにするべからず

二丁掛けを乱用すべからず
固いナットやボルトをゆるめるときに両口
スパナーの二丁掛けは威力を発揮しますが、
元来スパナーの柄の長さは口径につり合っ
て作られていますから、乱用して千切ってしま
ってはけません。ことに締付けのときの乱
用はつっしみたいもの。

二丁掛けを乱用すべからず

定期点検の注油脂の個所はすでに周知の通
りですが、案外大切なところが忘れられがち
です。
チェーン ミッションからの洩油をあてに
してはこまります。ケースがかかっているか
らといって安心してると油枯れになります
ブレーキ・カム軸 あまり注脂が過ぎると

注油脂



グリス・ニツプル つまっていたり、頭に
きずがあるとガンの利きが悪くなります。新
品にするまでもなく、ガンとニツブルの間に
ウエスを二三枚パッキンとして当てがって、
力強く注脂すると、案外うまくつまりが抜け
頭のきずも苦になりません。

摺動部 ベアリングその他への注脂は十分
であっても、レバーやペダル取付部のような
摺動部への注油がおろそかになっては困りま
す。コンタクト・アームのスリッパも含め
て。

ブレーキ・ライニングの面を汚してブレーキ
の利きを悪くします。むしろ控え目に。
ボイデン・ワイヤ クラッチやアクセルの
ワイヤーの被覆が破れているとせつかくのグ
リスが全体に行きわたらません。ビニール・
テープで覆ってからの注脂のこと。
メーター・ワイヤ メーター・ユニットに
注脂したグリスは、ケーブルの巻き方向の関
係でメーターの方へ昇ることがあります。メ
ーターへの取付部の下、数センチのところに
裏側へ一くぐらひの穴をあけておくとメータ
ーまで届きません。

★ヤマハファンにぴったりの、ティーンの雑誌!

ボーイズライフ

独占
劇画

007 シリーズ

毎月9日発売

2大連載

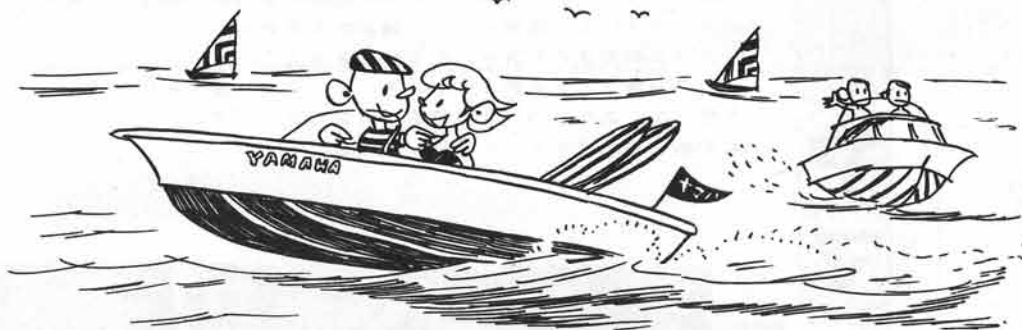
白土三平劇場

現代っ子の夢と希望にこたえて誕生したデラックスな10
代の雑誌です。若人の話題を独占するカラー特集をはじ
め、科学記事、世界のニュース、アクション小説などを
毎月提供しています。全国の中・高校生の話題を独占!

小学館



水につよい ヤングヤマハ



夏に水あそび—は子供のすること。秋風が立ったからといって水を敬遠してはヤングヤマハの資格はない。ではどんな遊びがある。まず釣、そんなジジむさいというなかれ。めまぐるしい現代に生きる若ものは、たまには静かな環境で英気をやしなう必要がある。

それでも、もつとカッコいいものをおつしやるなら、スキンドライブなどどうだろう。九月から十月にかけてが水の一番澄んで美しい時期、ウエットスーツをつければ冷い水もなんのその、マニアは秋と冬しかもぐらないというくらいのものだ。冬になればハンティングがある、朝の冷気ともやをつけて静かに鴨の群に近づく羽音をめがけてズドンと一発、獲物は水の上、それを回収するにはどうしても舟がいる。

ごんじのようにヤマハではボートをつくっている。手で漕ぐローボートから、十五メートルを越す豪華クルーザーまで、十四種類もあるが、若い諸君に手頃なのはフィッシュヤーマン12、これは全長三・六メートル、三馬力の船外機をつけて走れば立派なモーターボートになる。またこのボートには中央にイケスもあって、釣のためにも万幸都合、もちろん名前からみてもわかるように、フィッシュヤー

マン、釣り用のボートなんだよ。これに船外機をつければ素晴らしいモーターボート、この船外機もヤマハの製品、三馬力から八馬力まで四種ある。

船外機につよくなろう

船外機とはアウトボードモーターともいって、水の遊びに機動力を加えるにはぜひ必要なもの。エンジンの下にまつすぐドライブ機構がついて、その下にプロペラがついている。クランプによってどんなものにもとりつけられることはいうまでもない。たとえば風呂桶、机、タライ、なんでも水をかけたてて走らしてしまう。こんな便利なものにつよくなれば水の遊びは、夏でも冬でも君のもの。

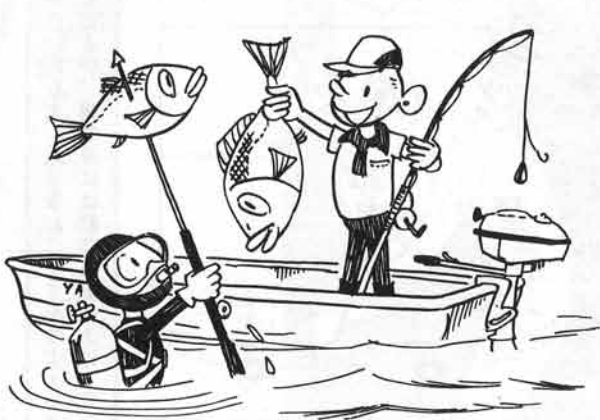
どうして使うかはしごく簡単。キカイに強いヤングヤマハなら、実物を見ればすぐ使えるだろうが、おせっかいに使い方や運転の注意を書いてみよう。燃料はガソリン20にオイル1。ヤマハ専用の船外機オイルがある。

燃料タンクには約二・三リットル入る。これで二時間連続運転は大丈夫。しかし予備タンクは是非もつこと。なぜなら海にスタンドはないのだから。

スタートの順序は、まずスターターレバーをスタートの位置にし、ガソリンキ



ヤマハ船外機P-35



ヤップの空気抜きをゆるめ、ガソリンコックを開き、スロットルレバーを少し開きスターターロープをちよつと引き出し、少し抵抗のあるところで止め、そこから一気にひっぱる。かかったら、前方をよく注意し静かにクラッチを前進に入れ、スロットルを開けばよい。舵は船外機そのものの方向を変えておこなう。バックは、後進ギア付でなければ、船外機を一八〇度クルリと回転させる。

ストップは、スロットルをしめ、ストップボタンを押し、ガソリンコックを閉じ、ガソリンキャップの空気穴を閉める。使ったあとは真水をふんだんに使って水洗い、長く使わないときは、ガソリンを抜いて各部にオイルをたっぷり入れた塗り塗りしておく。

とにかく使ってみればこんな簡単なものはない。水を楽しくすすすには、ぜひ船外機に強くなることだ。



ハンブルグのヤマハ船外機

エルベ河のヤマハ船外機

かるい、つよい、さびないヤマハ船外機は、海外でも評判で、世界各地の漁業にレジャーに大活躍しています。

西ドイツのエルベ河口からハンブルグ港までの一帯は、ヨット、モーターボートの基地が数限りなく、週末は大にぎわいです。

ファルケンステインの河岸で見かけたヤマハ船外機はPC-35です。持ち主のカール・ハインツ夫妻の手入れもよいせいか、ほとんど新品同様に輝やいています。

「かるい、つよい、さびない、ヤマハはほんとにすばらしい……」ドイツ人もびつくりというところでした。



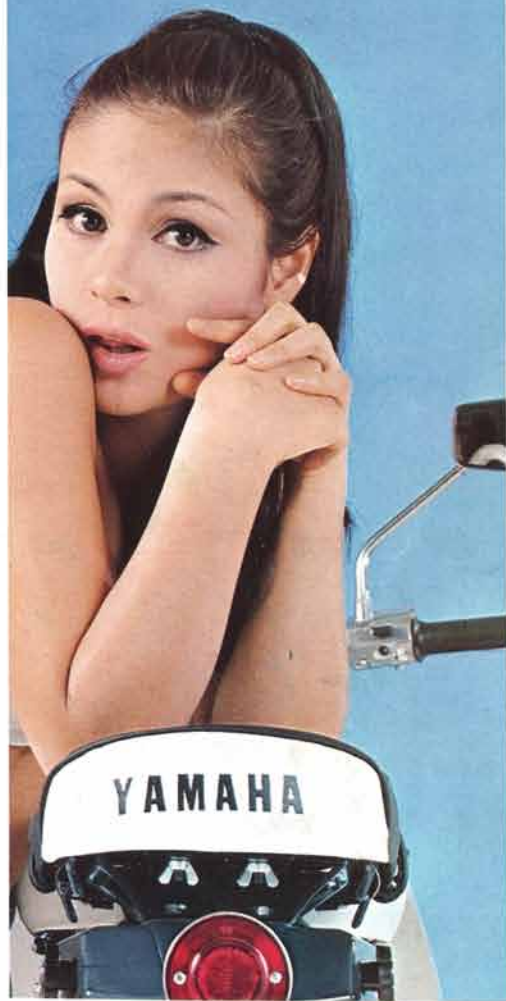
若い人、年配の人、女の人、男の人、みんなが
欲しているクルマ——それがヤマハメイトです。

初心者でも、乗りだしたその日からベテランなみの運転が可能！
背広のままで、スカートのもまで気軽に走りだせます。エンジンは
ロータリーバルブ+オートループで信頼性は抜群。ブレーキは
前後とも完全防水式の安全設計。あなたのお店のお客さんに安心
してすすめられるモペットならヤマハメイトです。

メイトに乗れば安上り
ヤマハメイト50USD
(セル付もあります)



ふたり乗りができる
ヤマハメイト70 U7
(セル付もあります)



ヤマハ発動機株式会社

ヤマハニュース NO. 51

■昭和42年 8月10日発行
■発行所 ヤマハ発動機株式会社=静岡県浜北市中条
■発行人 小池久雄